



2011年3月期 決算説明会

株式会社 T&K TOKA

T&K TOKA CO., LTD.

2011年5月12日

目次

I. 11.3期業績と12.3期予想

II. 当社の取組み

III. 12.3期の重点課題

I. 11.3期業績と12.3期予想

2011年3月期のトピックス

2011年3月期の実績

■埼玉第3UV工場を増強

- 埼玉事業所の第3UV工場の生産性向上のための設備を増強し、生産能力は年間7千トンへ

■100%子会社の富士化成を吸収合併

- 業務効率の向上、意思決定の迅速化を狙い、2011年2月1日付で吸収合併

■省電力型UV照射装置用印刷機の導入が増加傾向

- 次世代のUV印刷の主力となる、省電力型UV照射装置付き印刷機用のUVインキを開発・販売

東日本大震災の影響

■被害の状況

- 当社グループの生産拠点等における従業員の人的被害、生産設備等の被害はなし
- 当社子会社である東北東華色素株式会社(宮城県仙台市宮城野区)は、現在、正常に活動を行う
- 11.3期業績への影響は軽微に留まる

2011年3月期の実績

▶ 連結損益計算書(百万円)

	09.3期	10.3期	11.3期	増減額	増減率	期初予想	差額	達成率	2Q修正
売上高	41,707	44,626	47,185	2,559	5.7 %	46,620	565	1.2 %	48,200
売上原価	33,184	34,366	36,650	2,283	6.6 %	37,140	▲489	▲1.3 %	37,760
	(79.6 %)	(77.0 %)	(77.7 %)	(0.7 %)		(79.7 %)	▲(2.0 %)		(78.3 %)
売上総利益	8,523	10,259	10,535	275	2.7 %	9,480	1,055	11.1 %	10,440
	(20.4 %)	(23.0 %)	(22.3 %)	▲(0.7 %)		(20.3 %)	(2.0 %)		(21.7 %)
販管費	6,918	6,992	6,799	▲193	▲2.8 %	6,800	▲0	▲0.0 %	6,800
	(16.6 %)	(15.7 %)	(14.4 %)	▲(1.3 %)		(14.6 %)	▲(0.2 %)		(14.1 %)
営業利益	1,605	3,266	3,736	469	14.4 %	2,680	1,056	39.4 %	3,640
	(3.8 %)	(7.3 %)	(7.9 %)	(0.6 %)		(5.7 %)	(2.2 %)		(7.6 %)
経常利益	1,332	3,540	3,758	217	6.2 %	2,660	1,098	41.3 %	3,610
	(3.2 %)	(7.9 %)	(8.0 %)	(0.1 %)		(5.7 %)	(2.3 %)		(7.5 %)
当期利益	▲201	4,290	2,248	▲2,042	▲47.6 %	1,480	768	51.9 %	2,140
	▲(0.5 %)	(9.6 %)	(4.8 %)	▲(4.8 %)		(3.2 %)	(1.6 %)		(4.4 %)

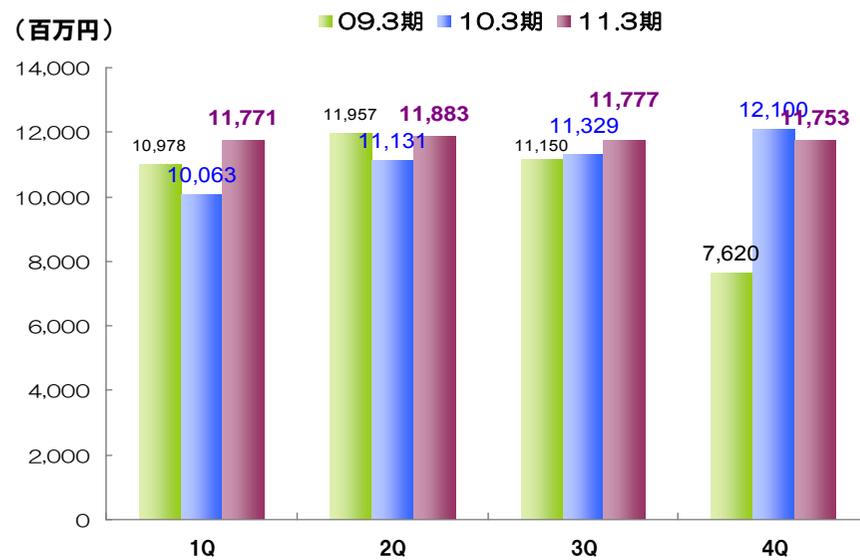
▶ 連結製品別売上高(百万円)

	09.3期	10.3期	11.3期	増減額	増減率	期初予想	差額	達成率	2Q修正
平版インキ	14,476	15,254	15,199	▲54	▲0.4 %	15,485	▲285	▲1.8 %	
UVインキ	16,384	18,427	20,333	1,905	10.3 %	20,125	208	1.0 %	
その他インキ	3,459	3,591	3,784	192	5.4 %	3,590	194	5.4 %	
その他	3,511	3,489	3,718	229	6.6 %	3,400	318	9.4 %	
インキ計	37,832	40,762	43,036	2,273	5.6 %	42,600	436	1.0 %	
商品	3,875	3,863	4,149	286	7.4 %	4,020	129	3.2 %	
総計	41,707	44,626	47,185	2,559	5.7 %	46,620	565	1.2 %	

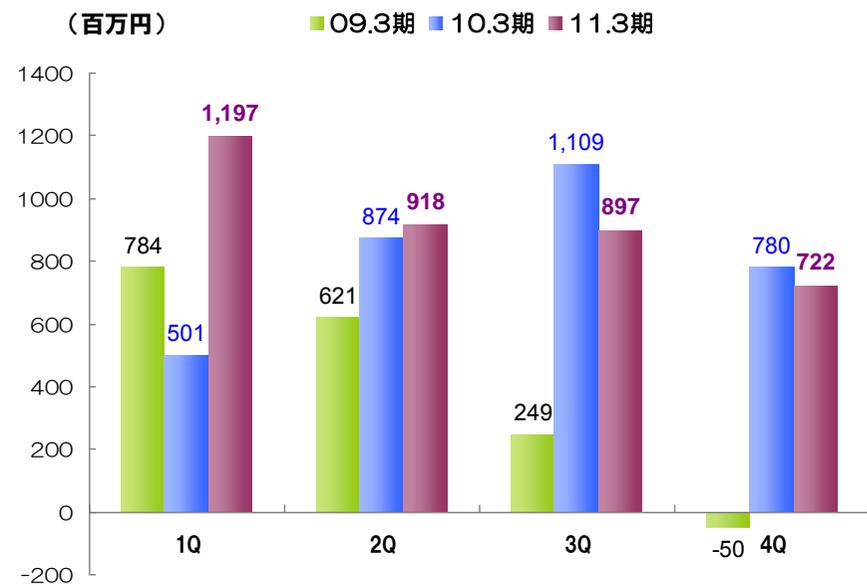
四半期ごとの業績推移

- 第3Q以降原材料(樹脂)の高騰が顕著
- 第3Q後半から特殊UVインキの売上が下降

【売上高の推移】



【営業利益の推移】



連結貸借対照表、キャッシュフロー計算書

貸借対照表	09.3期	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考
流動資産	24,969	27,218	28,727	1,508	5.5 %	
現金及び預金	4,514	4,495	5,329	834	18.6 %	
受取手形・売掛金	13,661	15,888	16,296	408	2.6 %	
棚卸資産	5,764	6,159	6,437	278	4.5 %	
その他	1,029	675	663	▲11	▲1.7 %	
固定資産	19,991	20,115	19,567	▲547	▲2.7 %	
有形固定資産	16,809	17,099	16,239	▲859	▲5.0 %	
無形固定資産	162	178	195	17	9.6 %	
投資その他の資産	3,019	2,837	3,132	294	10.4 %	
資産合計	44,961	47,333	48,294	960	2.0 %	
流動負債	17,006	14,337	14,588	250	1.7 %	
支払手形・買掛金	8,034	9,491	9,886	395	4.2 %	
短期借入金	6,100	1,983	1,994	10	0.5 %	
1年内償還の社債	10	10	10	0	0.0 %	
固定負債	1,447	1,872	1,889	17	0.9 %	
社債・転換社債	20	10	0	▲10	-	
長期借入金	65	94	35	▲59	▲62.6 %	
退職給付引当金	686	825	963	138	16.8 %	
役員退職慰労引当金	427	179	153	▲26	▲14.7 %	
負債合計	18,454	16,210	16,478	267	1.7 %	
純資産合計	26,507	31,123	31,816	692	2.2 %	
負債・純資産合計	44,961	47,333	48,294	960	2.0 %	

キャッシュフロー	09.3期	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考
営業CF	1,183	5,011	3,803	▲1,207	▲24.1 %	
投資CF	▲2,159	▲731	▲2,016	▲1,284	▲175.6 %	
財務CF	1,210	▲4,529	▲595	3,934	86.9 %	
CF期末残高	3,628	3,682	4,594	912	24.8 %	

2011年3月期の実績と成果

2011年3月期の実績

■ 売上高・・・471億85百万円 5.7%

為替換算時の円転換額で15億16百万円減少

【版別】

➤ 平版インキ・・・▲0.4%

➤ UVインキ・・・ 10.3%

(内訳)	一般UVインキ	6.7%
	特殊UVインキ	20.1%

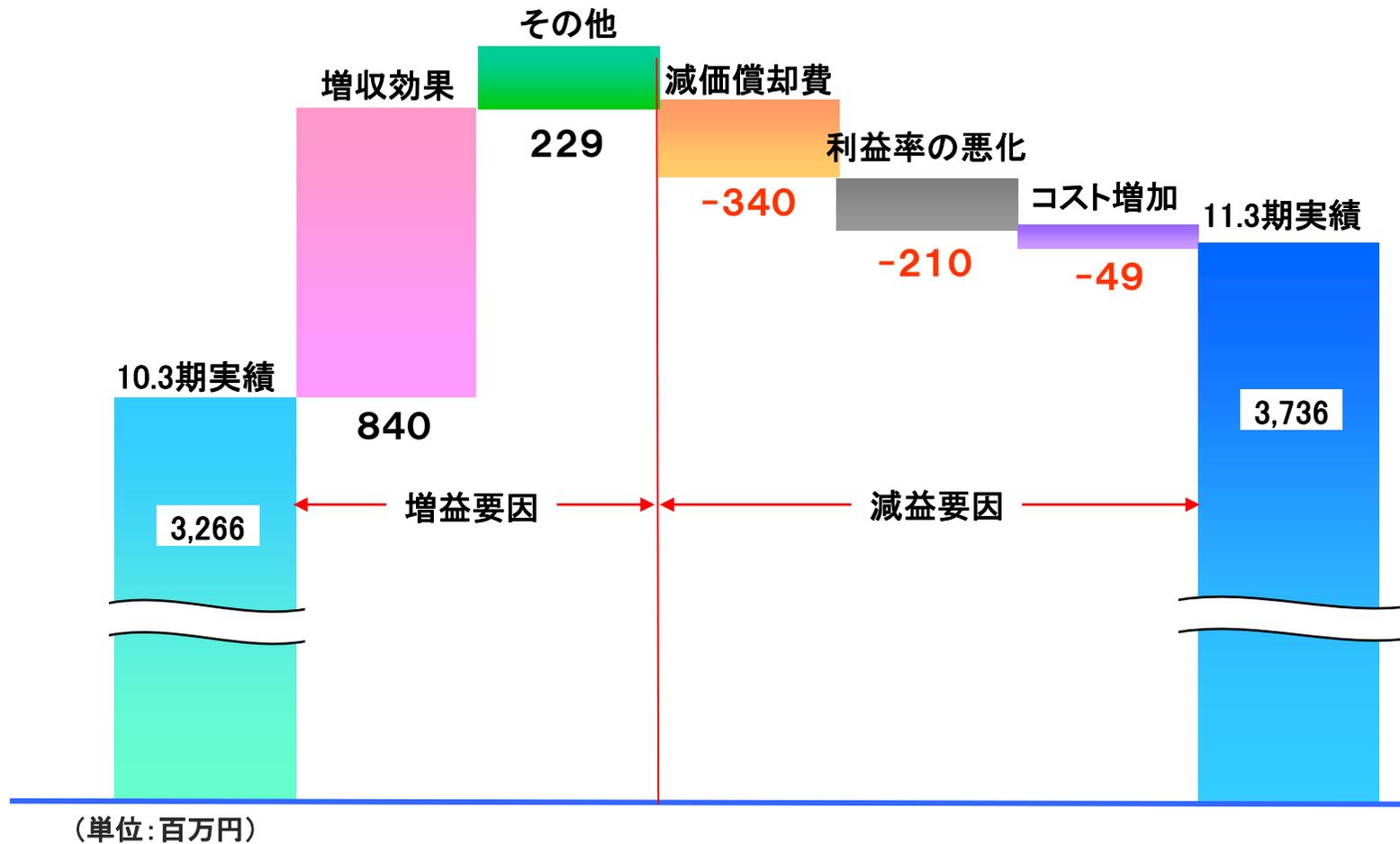
■ 営業利益は次ページ

■ 当期利益・・・22億48百万

➤ 特別損失・・・4億44百万

(内訳)	チマニートオカ為替差損	2億34百万	(前期7億58百万円の為替差益)
	資産除去債務過年度分	91百万	

2011年3月期の営業利益の増減分析



2012年3月期の予想

▶ 連結損益計算書(百万円)

	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	備考
売上高	45,059	41,707	44,626	47,185	48,760	1,574	3.3 %	
売上原価	33,789	33,184	34,366	36,650	38,840	2,189	6.0 %	
	(75.0 %)	(79.6 %)	(77.0 %)	(77.7 %)	(79.7 %)	(2.0 %)		
売上総利益	11,270	8,523	10,259	10,535	9,920	▲615	▲5.8 %	
	(25.0 %)	(20.4 %)	(23.0 %)	(22.3 %)	(20.3 %)	▲(2.0 %)		
販管費	7,130	6,918	6,992	6,799	6,990	190	2.8 %	
	(15.8 %)	(16.6 %)	(15.7 %)	(14.4 %)	(14.3 %)	▲(0.1 %)		
営業利益	4,140	1,605	3,266	3,736	2,930	▲806	▲21.6 %	
	(9.2 %)	(3.8 %)	(7.3 %)	(7.9 %)	(6.0 %)	▲(1.9 %)		
経常利益	4,140	1,332	3,540	3,758	2,960	▲798	▲21.3 %	
	(9.2 %)	(3.2 %)	(7.9 %)	(8.0 %)	(6.1 %)	▲(1.9 %)		
当期利益	2,157	▲201	4,290	2,248	1,580	▲668	▲29.7 %	
	(4.8 %)	▲(0.5 %)	(9.6 %)	(4.8 %)	(3.2 %)	▲(1.6 %)		

▶ 連結製品別売上高(百万円)

	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	
平版インキ	15,506	14,476	15,254	15,199	16,045	845	5.6 %	
UVインキ	17,933	16,384	18,427	20,333	20,860	526	2.6 %	
その他インキ	3,790	3,459	3,591	3,784	4,155	370	9.8 %	
その他	3,669	3,511	3,489	3,718	3,880	161	4.3 %	
インキ計	40,900	37,832	40,762	43,036	44,940	1,903	4.4 %	
商品	4,159	3,875	3,863	4,149	3,820	▲329	▲7.9 %	
総計	45,059	41,707	44,626	47,185	48,760	1,574	3.3 %	

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

(百万円)

	06.3期	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期予
設備投資	1,932	3,705	2,482	2,743	1,761	1,472	3,285
減価償却費	1,304	1,366	1,505	1,632	1,931	2,270	2,217
研究開発費	936	934	1,072	1,261	1,159	1,074	1,081

【11年3月期実績】

- 国内 … 11.4億円
 - 特殊UVインキ生産設備 7.4億円
- 海外 … 3.2億円
 - 中国・杭華油墨 1.7億円
 - 韓国・KSI 1.0億円

【12年3月期計画】

- 国内 … 28億円
 - 特殊UV集約工場 6.1億円 (竣工・平成24年9月予定)
 - 埼玉生産工場合理化 7.6億円
- 海外 … 4.7億円
 - 中国・杭華油墨生産設備 3.8億円

2012年3月期予想の前提

2012年3月期予想の前提

- **売上高**・・・増収、インキの供給を最優先に量とシェアの拡大を目指す
 - 版別 : 平版インキ、一般UVインキが伸張
 - 地域別 : 中国・アジアが牽引役

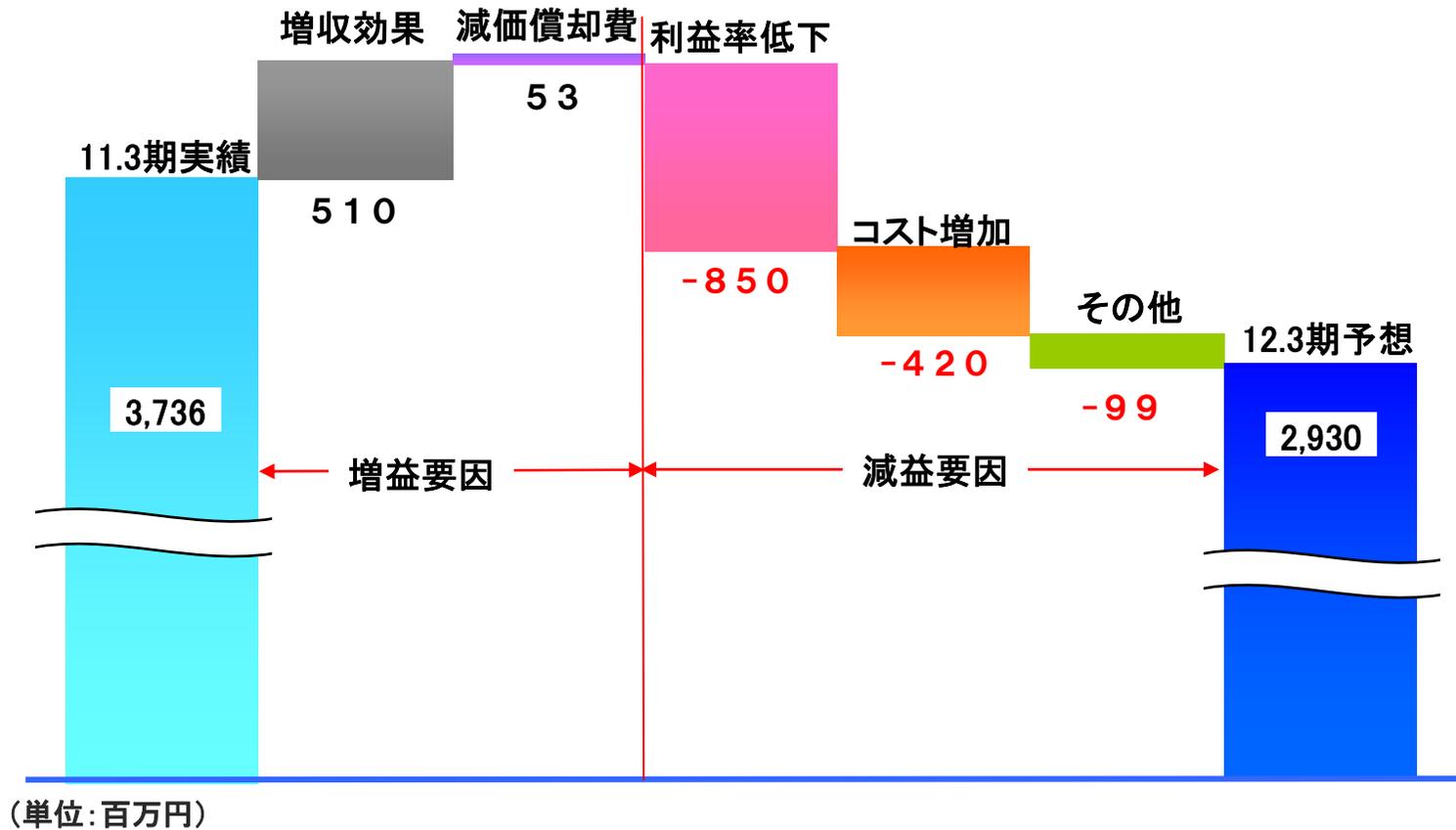
- **営業利益**・・・減益、原油価格の高騰による原油由来原材料の高騰とロジン等植物系原材料の高騰が影響し利益率が低下
販売価格への転嫁は限定的に留まる

- **配当金**・・・上期・下期で各1株につき13円とし、年間26円を予定

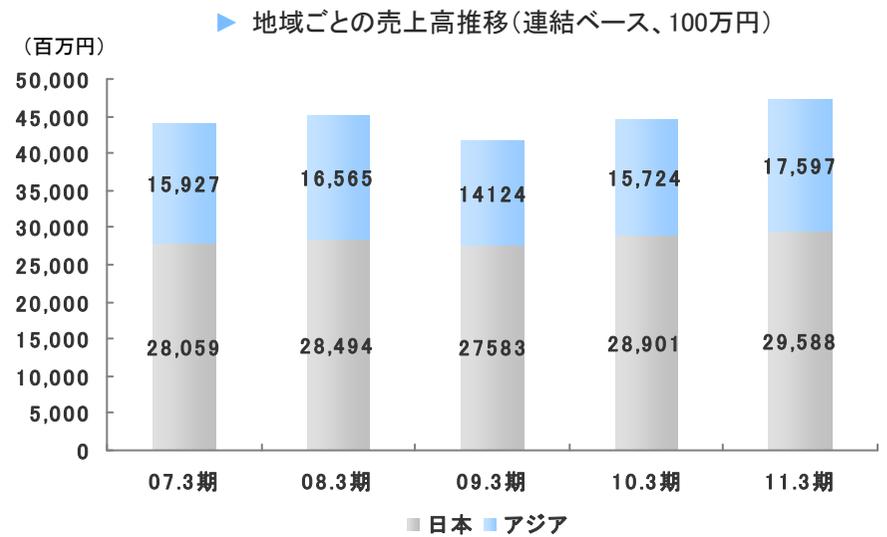
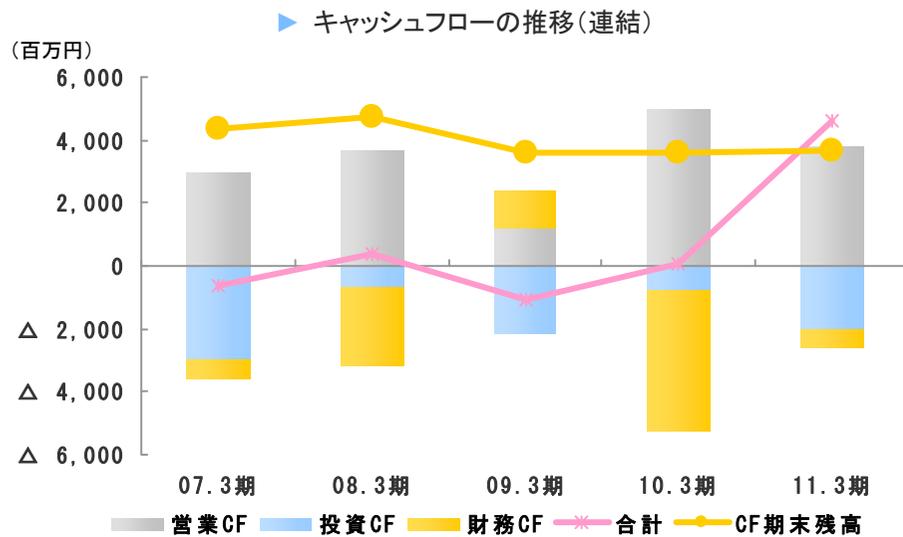
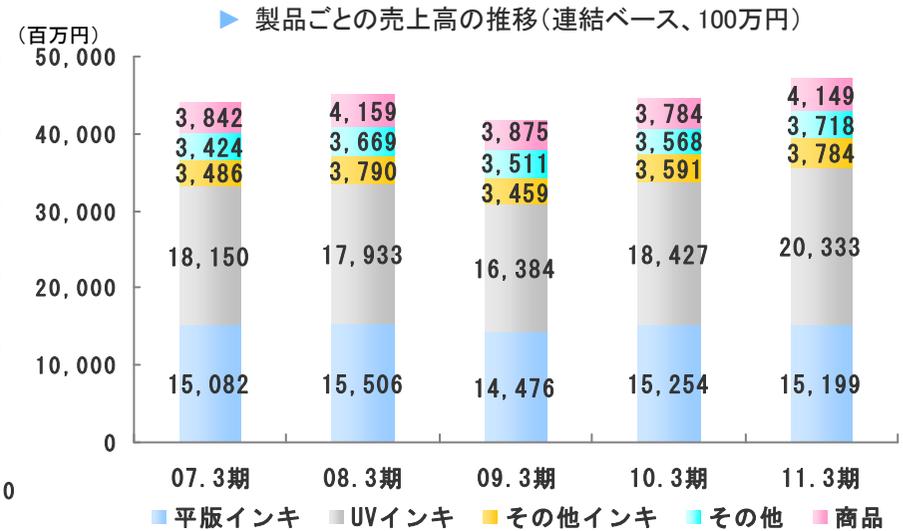
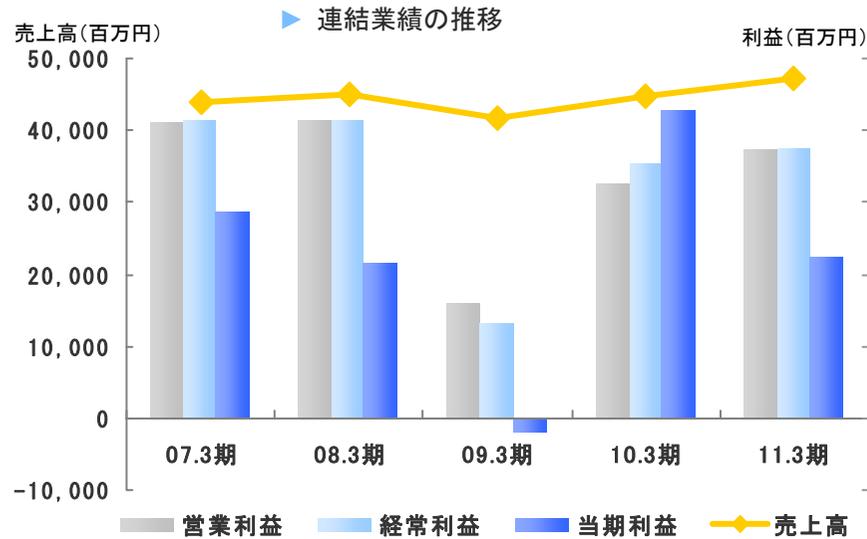
2012年3月期の業績予想につきまして、下記理由により、震災後の影響については、考慮しておりません

東北地方太平洋沖地震後、新聞等の報道にもありますように、一部の原材料の調達が困難な状況にあります。現時点では、当社及び当社グループの生産・販売活動に大きな影響を及ぼす事象はありませんが、今後の状況の変化によっては、当社及び当社グループの生産・販売活動に影響が及ぶ可能性があります。また、原材料の供給不足による調達価格の高騰は十分に考えられるものの、現時点での予測は困難であります。

2012年3月期の営業利益の増減分析

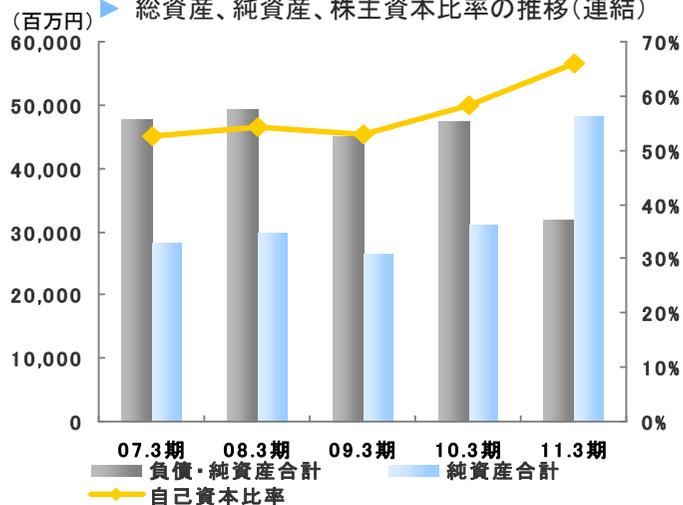


業績推移



経営指標

▶ 総資産、純資産、株主資本比率の推移(連結)



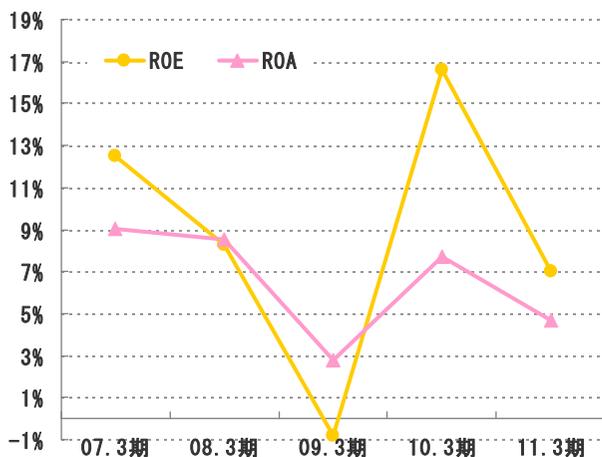
▶ 売上高営業利益率(連結)



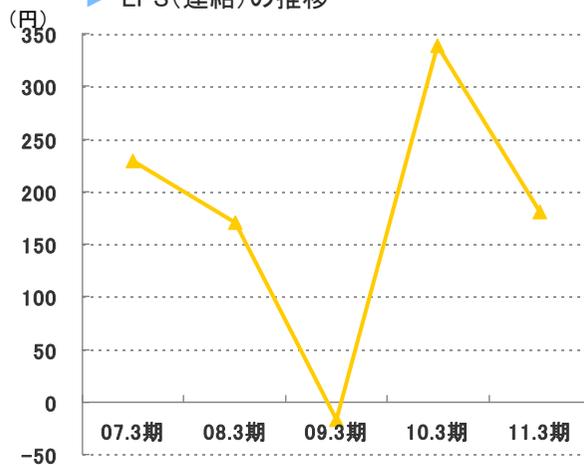
▶ 売上高当期利益率(連結)



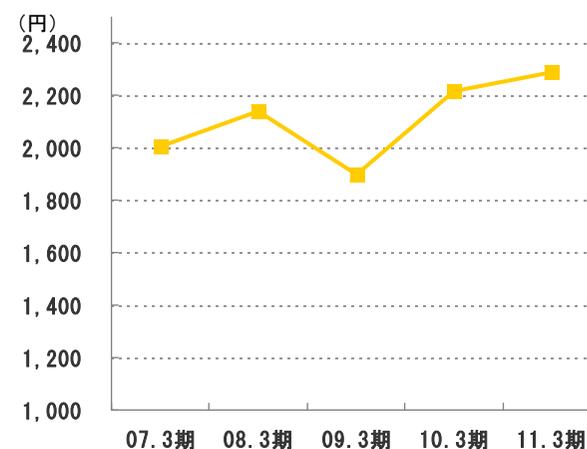
▶ ROE、ROAの推移(連結)



▶ EPS(連結)の推移



▶ BPS(連結)の推移

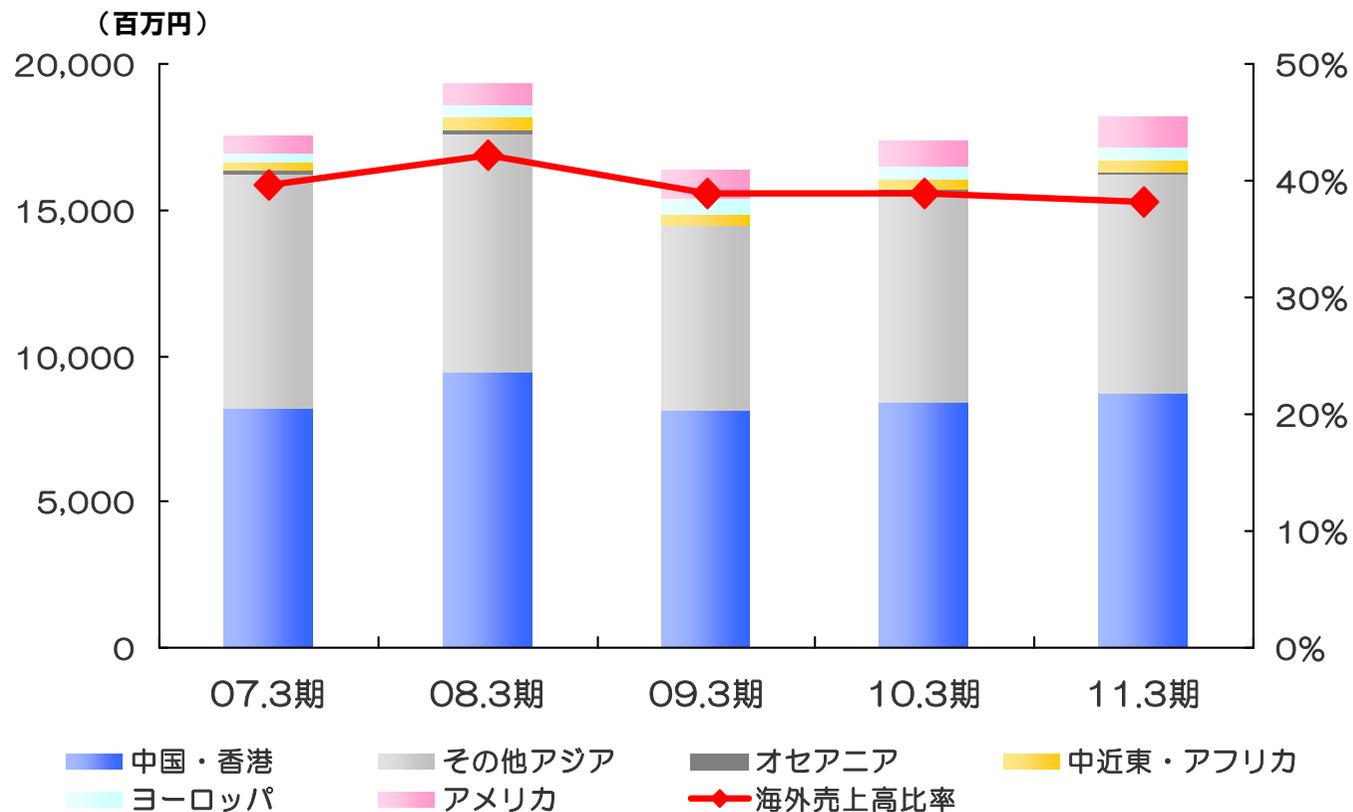




II. 当社の取組み

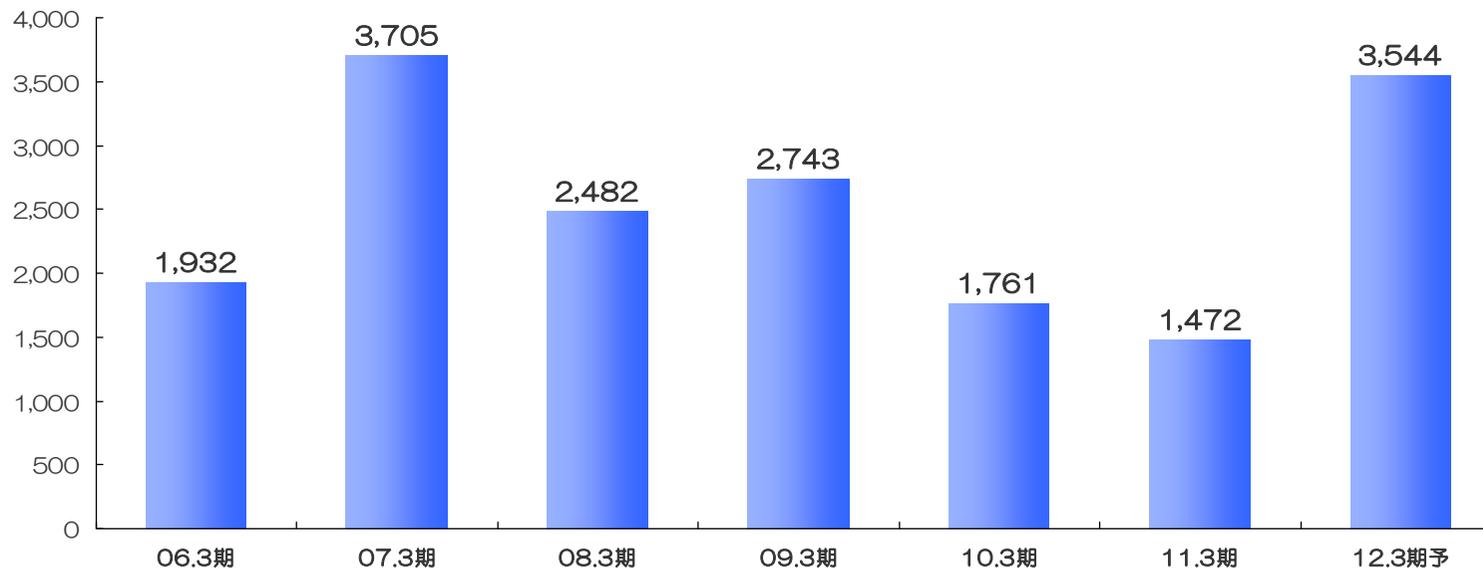
当社の競争力(海外展開)

- 海外売上が業績を牽引
 - 中国を中心とするアジア市場
 - 東華HKを經由したグローバルな販売を展開
 - 欧米には代理店を拠点とした販売活動



積極的な設備投資により、供給能力を増強

06.3期以降、7年間で約170億円





III. 2012.3期の重点課題

12.3期の重点課題

1)インキの供給を最優先

- ・震災の影響による一部原材料調達難には、海外グループからの調達を含め万全な体制で臨み、顧客への供給を最優先

2)特殊UVインキの研究および生産体制の強化

- ・液晶カラーフィルター向けなどの特殊UVインキの需要が拡大に向け、生産能力増強と効率の向上を実現

3)次世代UVインキの開発と拡販

- ・省電力型照射装置用のUVインキの開発と拡販
UVインキの速乾性を生かし、顧客の短納期化を実現、さらに省電力によりコスト削減
- ・インクジェット用インキ
UVインキの特性を生かし、ガラス、金属など様々な素材に印刷

4)市場の開拓

- ・UVインキを軸として、アジア、欧米、南米市場を深耕
当社及び当社グループの力を集結して、高品質の製品を安定供給

～企業理念～

Technology & kindness 技術とまごころ

時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T&K TOKAIは、創業から60数年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は60年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけなく強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。

時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

～投資家・株主の皆様へ～

「明 鮮 渋 暗 強 着・・・」

無数・無限に求められる色をどの様に表現するか？

T&K TOKA及びTOKAグループは日々活動しております。目で捉えるだけでなく、
触れる・嗅ぐ・・・ 色それぞれに多様な機能を盛り込み、新たな価値を創造する。

TOKAは色んな事に挑戦し続けます。

IRの問合せ先
株式会社 T&K TOKA 財務部
Tel. 03-3963-0511

会社概要

- 社名 株式会社T&K TOKA
- 本社 東京都板橋区泉町20-4
- 代表者 代表取締役社長: 増田至克
- 設立 1949年(昭和24年)12月、東京都板橋区に設立
- 事業内容
 - ・ 事業内容: 紫外線硬化型インキ(UVインキ)やオフセットインキ、グラビアインキ等の印刷用インキや特殊インキ、印刷関連機材の製造販売、印刷機械などの販売
 - ・ 合成樹脂、同原材料の製造販売、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業
- 資本金 2,060百万円
- 連結子会社 印刷インキ関連の国内子会社のほか、アジアを中心とした海外展開を強化しており、インドネシアや韓国、中国、バングラディッシュに生産及び販売を目的とした現地法人を展開
国内連結子会社2社、海外連結子会社8社、海外持分方適用会社1社
- 従業員数 連結1,484人(202人)、単体609人(49人)
(2011.3月期末、()は臨時雇用者数の年間平均外数)

ご参考：インキ・印刷の種類と当社の事業領域

インキの種類	インキ及び印刷特性	主な用途	T&K TOKAの事業
平版インキ (オフセットインキ)	もっともポピュラーな印刷方式。水と油が反発し合う性質を利用する。印刷版の印刷インキを転写体(胴)に転移し(オフ)、これを紙に再転移する(セット)。枚葉印刷機と輪転印刷機のうち、輪転印刷機が多く使われる。	ポスター、雑誌、チラシ、カタログなど	UVインキ、一般インキ
樹脂凸版インキ (フレキソインキ)	ゴム、樹脂などフレキシブルな弾性のある版や凸版と、液体の印刷インキとを用いる印刷方式。版がやわらかいので、表面がざらざらしていても印刷できる。水性、UVなど環境にやさしい無用剤型インキで印刷される。	紙袋・ダンボール箱、包装紙など	UVインキ、一般インキ
グラビアインキ	印刷版のくぼんだ画線部に残っているインキを紙などに転移させる凹版印刷方式。インキの膜厚で諧調を調整するため、無段階でなめらかな諧調再現が可能。品質が高い写真の表現ができる一方、コストがかかる。	化粧合板、通販カタログ、携帯電話、菓子の袋など	一般インキ
スクリーンインキ (孔版インキ)	画線部に孔を開けた版(スクリーン)を通して、紙などにインキを転写する印刷方式。大面積や局面への印刷、紙以外にも多様な媒体への印刷が可能。プリントゴッコはこの印刷方式。	車のパネル、携帯電話、看板、CD、DVDなど	UVインキ
金属印刷用インキ	アルミニウム板、ステンレス板、プリキ板などの金属の表面に絵柄を印刷する。印刷は各種印刷方式で印刷される。印刷後は乾燥・焼付けするが、同工程が不要のインキも開発されている。	食缶、飲料缶、美術缶など	UVインキ、一般インキ
特殊機能インキ	インキの化学特性や印刷方法を活かし、電子材料を中心とした、さまざまな特殊用途向け。	FPD、電子基盤など	UVインキ
新聞インキ	新聞用のインキ。欧州では環境対応で水なしインキが使われ始める。	新聞紙	海外のみ

ご参考：当社のUVインキの用途

印刷対象	分野	用途
紙	食品	飲料容器(牛乳・清涼飲料・酒等紙パック)、菓子外箱、冷凍食品外箱
	医薬・化粧品	医薬品外箱、化粧品箱
	一般外箱	玩具・洗剤・煙草などの外箱、贈答品用化粧外箱、DVDボックス、家電製品外箱
	出版・商業	雑誌類表紙、絵本、ポスター、チラシ
	その他	トレーディングカード、取扱説明書、カレンダー、グリーティングカード
プラスチック	食品	カップ(麺類・乳製品・デザート類)、ペットボトルのキャップ、チューブ(わさび・辛子・生姜など)
	医薬・化粧品	チューブ(歯磨き・ハンドクリームなど)、ボトル(シャンプー・洗顔料など)
	カード	プリペイドカード全般(交通機関、電話、パチンコなど)、診察券、会員カード類、トランプ類、IDカード、免許証
	その他	パソコン等キーボード、CD・DVD、玩具、クリアファイル、文具・事務用品
シール	粘着シール	シール・ステッカー全般(食品ラベル、自賠責ステッカー、乾電池ラベルなど)
	シュリンクラベル	清涼飲料ラベル(ガラスボトル、PETボトルなど)
	インモールラベル	シャンプー、洗剤など
帳票・証券	帳票全般	領収書・納品書等の一般伝票、宅配便伝票、電話・ガス・水道・電気等の検針票・請求書、金融関係の帳票類(CD機利用明細・通帳など)、生保・損保関係の証券・契約申込書など、各種マークシート(解答用紙・国勢調査票・JRA投票用紙)
	金券等	小切手、切符、商品券、通行券、入場券、勝馬投票権、舟券、宝くじ、搭乗券など
金属缶	食品	飲料缶・食缶・美術缶
	その他	ネームプレート・缶バッジ

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

T&K TOKU